

発言通告書（総括表）

令和元年第2回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	はやお議員 (自民)	<p>1. 基本計画(ちよだみらいプロジェクト)見直しと財政見直しについて</p> <p>2. 障害者福祉施策の現状と今後の方向性について</p> <p>3. まちづくりと駐車場施策について</p>	<p>人口推計や今後の施設整備計画を踏まえた基本計画見直しについて問う。</p> <p>(1) 基本構想、基本計画の必要性と位置づけ (2) 進捗管理の現状と課題 (3) 人口ビジョンの見直しの必要性と今後の活用 (4) 基本計画見直し作業と今後の取り組み (5) 今後の財政見直しと複数年予算</p> <p>「千代田区障害者の意思疎通に関する条例」を制定したが取り組み効果が見え難いので以下について問う。</p> <p>(1) 障害のある方への理解促進と合理的な配慮に関する区の実践と課題 (2) 障害福祉プランへの反映について (3) 障害児保育の課題と新設保育所併設の必要性</p> <p>まちを構成する要素としての駐車場の配置適正化について問う。</p> <p>(1) マンションの駐車場附置義務の動向 (2) 駐車施設配置計画と今後の区のみちづくり</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	木村議員 (共産)	(1) 消費税増税問題で区長の見解を問う	<p>■ 貧困と格差を広げ、税収の空洞化で税制のゆがみをもたらす消費税の増税は中止すべきと考えるがどうか。</p> <p>■ 消費税増税に伴う「緩和策」はさらなる格差を広げる。今回の幼児教育・保育無償化に対して待機児童を増やし、保育の質を低下させるのでは、との不安の声もある。この声にどう応えるか。無償化は認可保育所の整備や保育士の労働条件の改善等と一体ですめるべきではないか。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和元年第2回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
2	木村議員 (共産)	<p>(2) 区民の3つの願いに即してまちづくりのあり方を問う</p> <p>(3) 国民健康保険制度について</p>	<p>①災害に強いまちづくりを ヒト・モノ・カネの都市への集中が災害に対する脆弱性を拡大している。集中の是正を図るときではないか。</p> <p>②豊かな子育て環境を 希望する保育所に入れない現状の背景にマンションの供給増がある。豊かな保育・教育環境の確保には建設総量をコントロールするしくみが必要ではないか。</p> <p>③住み続けられるまちに 市街地再開発事業等で少数者が排除されてはならない。少数者の意向をまちづくりに反映させるのは行政の責務と考えるがどうか。</p> <p>■ 9割の世帯で国保料を引き下げた努力を評価しつつも、さらなる引き下げが求められる。それには①一般会計の繰り入れで国保料値上げの抑制をはかる自治体の努力を、問題視する国の圧力をはねかえし②「人头税」ともいえる均等割を廃止することが必要。せめて区の努力で子どもの均等割の減免を。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
3	米田議員 (公明)	<p>通学、登園、散歩ルート等の安全確保について</p> <p>区営、区民住宅政策について</p> <p>災害派遣トイレトレーラーについて</p>	<p>先月、滋賀県大津市の県道交差点で、散歩中の園児が犠牲となる事故が起こった。また川崎市でも通学中の生徒が犠牲となる死傷事件が起きた。そこで今回の事故、事件を受け区としてどのように受け止め今後どのような対策をしていくのか基本的な考えを伺う。</p> <p>これまでも事故、事件が起こるごとに対策をしてきたが、今一度通学路、散歩ルート等安全対策を講じるべきと考える。区としての見解は。</p> <p>国土交通省は平成29年の民法改正に伴い、賃貸住宅の契約の参考となる「賃貸住宅標準契約書」を改訂した。これを受け東京都でも本年の3月に住宅供給公社が「公社の賃貸住宅の修繕負担区分の見直し」を発表した。そこで本区でも区営、区民住宅の居住者の修繕負担区分の見直しをすべきと考える。区としての見解を求める。</p> <p>全国の自治体に、災害派遣トイレトレーラーの導入が検討されている。有事の際には被災地に提供し、本区が被災した際には援助してもらえる。そこで本区も導入し有事の際に備えるべきと考える。ご所見は。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者